

自我との一生の戦い

ガラテヤ 5:16

「尊いのは、愛によって働く信仰だけである」

2 コリント 3:18

「栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられていく。

これは霊なる主の働きによるのである」

讚美歌 262

十字架のうえに われはあおぐ
わがため悩める 神の御子を
妙にもとうとき かみの愛よ
底いも知られぬ ひとの罪よ

キリストへの道 13ページ

「初め、人は優れた能力と調和の取れた精神を与えられていました。彼はまた人として完全に神と調和し、思想も純潔で、清い目的をもっていました。けれども、神に背いたためその能力は悪に向けられ、愛は利己心と変わってしまいました。」

創世記 3:11

「食べるなど、命じておいた木から、あなたは取って
食べたのか」

1 ヨハネ 3:4

「すべて罪を犯す者は、不法を行う者である。罪は不法である。」

キリストへの道 81-82ページ

「私どもは生まれながら罪あるものとなり、自分の力で義となることはできなくなりました。私どもは罪深く汚れているので、清いおきてに完全に従うことができません。神のおきての要求に応じうる義を持ちあわせていません。」

ローマ 5:12

「このようなわけで、ひとりの人によって、罪がこの世にはいり、また罪によって死がはいってきたように、こうして、すべての人が罪を犯したので、死が全人類にはいり込んだのである。」

詩篇 51:5

「見よ、わたしは不義のなかに生れました。わたしの
母は罪のうちにわたしをみごもりました」

ローマ 7:18

「わたしの内に、すなわち、わたしの肉の内には、
善なるものが宿っていないことを、わたしは知って
いる。」

教育 21ページ

「善悪を知る木の実を食べた結果は、すべての人間の経験にあらわれている。人の性質には、悪への傾向、すなわち自力だけでは抵抗し得ない1つの力が働いている。」

マルコ 7:21-23

「すなわち内部から、人の心の中から、悪い思いが出て来る。不品行、盗み、殺人、姦淫、貪欲、邪悪、欺き、好色、妬み、誹り、高慢、愚痴。これらの悪はすべて内部から出てきて、人をけがすのである。」

青年への使命 233ページ

「クリスチャンの品性を完成するためには、高い精神力を
道徳面に活発に働かさなければなりません。私たちがこ
の世においてどれほど役にたつ人間となるか、また最後
に救われる者となるかどうかは、精神力の強弱によるとこ
ろが大きいのです。」

スタディーバイブル注解 旧約 1113ページ

「あらゆる地上の帝国や教会が益々墮落してきているのは、これらの原則によるのである。」

ミニストーリー・オブ・ヒーリング113ページ

「人間を支配していた原則は利己心であり、サタンは人類を悲惨と墮落におとし入れ、思うままに働いていた。サタンの使が人間を占有していた。神の住家に造られた身体が、悪鬼の住家となってしまっていた。人の感覚、神経、器官は超自然的な力の影響を受け、最も卑劣な情欲が欲しいままに使われた。人間の顔に悪鬼そのものの印が押され、とりついている悪鬼の表情が反映していた。」

ヤコブ 1:25

「完全な自由の律法」

各時代の希望中 369

「この世の国では、地位は自分を高めることを意味した。民衆は支配階級の利益のために存在していると思われていた。勢力、富、教育は、指導者たちが大衆を自分のために使用するために彼らを支配する手段であった。上層階級が考え、決定し、楽しみ、支配し、下層階級は従い、仕えるのであった。ほかのすべてのことと同様に、宗教も権力の問題であった。民衆は目上の人から命じられる通りに信じ、実行するものと期待されていた。

(続き)

自分で考え、実行する人間としての人権はまったく認められなかった。キリストは、これと異なった原則の上にみ国を築いておられた。主は人々を権力の立場にではなく、奉仕の立場に召し、強い者を弱い者の欠点を負うために召された。権力、地位、才能、教育のある人は、それだけほかの人々に仕える一層大きな義務を負わされた。・・・人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人があがないとして、自分の命を与えるためである」(マルコ10:45)。」

ヤコブ 3:16

「ねたみと党派心とのあるところには、混乱とあらゆる忌むべき行為とがある。」

祝福の山 169

「あなたが何かを人以上に持っていれば、その程度に応じて、あなたはあなたより恵まれないすべての人に対して負い目があるのである。」

マタイ 7:12

「だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、
人々にもそのとおりにせよ。」

詩篇 37:1

「だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、
人々にもそのとおりにせよ。」

祝福の山 18

「人間の本性は、たえず自己を表現しようと戦い、競争している。しかしキリストに学ぶ者は、自己、誇り、至上権を愛する心がなくなり、心の中はおだやかになる。自我は聖霊の指導に服従する。その時わたしたちは、最高の地位を得たいと望まなくなる。わたしたちは他人をおしのけて、自分に注目を引くことを望まない。わたしたちの最高の地位は、救い主の足下にあると思うのである。」

祝福の山19

「わたしたちの平和を破壊するのは、自己愛である。自己が生き
ている間は、屈辱や侮辱から自己を守ろうといつも見張っていな
ければならない。しかし自己に死に、わたしたちの命がキリストと
ともに神の中にかくれるならば、無視されても、軽べつされても、
少しも心にとめなくなる。わたしたちは、人の非難に対してつんぼ
となり、嘲笑、侮辱に対してはめくらとなるのである。」

ダニエル 4:23

「この木を切り倒して、これを滅ぼせ。ただしその根の
切り株を地に残し、それに鉄と青銅のなわをかけ」

スタディーバイブル注解 新約 260

「回復の働きは、悪の根に届いていない限り、徹底的になされることはない。何度も何度も芽が刈り取られるが、苦しい根は、発芽して多くの人を汚すために残されてしまう。しかし神のご臨在という光の中で、隠された悪の深みまで探って、道徳的感覚が何度も裁かれなければならない。」

マラキ 4:1

「その来る日は、彼らを焼き尽して、根も枝も残さない。」

各時代の希望下 291

「サタンは根であり、サタンに従う者たちは枝である。」

1ペテロ 2:23

「ののしらられても、ののしりかえさず、苦しめられても、おびやかすことをせず、正しいさばきをするかたに、いっさいをゆだねておられた。」

マタイ11:29

「わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、…わたしに学びなさい。」

スタディーバイブル注解 新約388-389ページ

キリストのようになることに努める —

「キリストのようになる目的で彼を見ていると、真理を求める人は神の律法の原則の完全さが分かり、彼は完全の他には何にも満足しなくなる。」

各時代の希望下 158ページ

「われわれが聖霊を用いることはできない。みたまがわれわれを用いてくださるのである。みたまを通して、神は民のうちに働き、『その願いを起させ、かつ実現に至らせ』てくださるのである(ピリピ 2:13)。しかし多くの者はこれに従おうとしない。彼らは自分で自分を支配したいのである。これが、彼らが天の賜物を受けない理由である。」

各時代の希望中 255ページ

「魂がキリストに屈服する時に行われる変化の中に、最高の意味の自由がある。罪を追い出すことは、その魂自身の行為である。なるほどわれわれは、サタンの支配からわが身を解放する力はない。だが罪から解放されたいと望み、非常な必要を感じて、われわれ以外の、そしてわれわれ以上の力を求めて叫ぶ時、魂の能力には聖霊の天来の力が吹きこまれ、その能力は神のみこころを成就することにおいて意思の命令に従うのである。」

各時代の希望中333ページ

「自我を屈服させることがキリストの教えの本質
である。」

詩篇 138:6

「主は高くいらせられるが低い者をかえりみられる。
しかし高ぶる者を遠くから知られる。」

詩篇51:17

「神の受けられるいけにえは砕けた魂です。神よ、
あなたは砕けた悔いた心をかろしめられません。」

詩篇51:17

「神の受けられるいけにえは砕けた魂です。神よ、
あなたは砕けた悔いた心をかろしめられません。」

ローマ7:24

「わたしは、なんというみじめな人間なのだろう。
だれが、この死のからだから、わたしを救ってく
れるだろうか。」

箴言 16:32

「怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を
治める者は城を攻め取る者にまさる。」

1コリント 15:31

「兄弟たちよ。わたしたちの主キリスト・イエスにあって、わたしがあなたがたにつき持っている誇にかけて言うが、わたしは日々死んでいるのである。」

ミニストリー・オブ・ヒーリング 435ページ

「だれでも、厳しい、不撓の努力をせずに向上する者はいない。すべてが自己のために、この戦いに参加しなければならない。だれも代わりに戦うことはできない。わたしたち個人個人が、自己の戦いの結果に対して責任を持つのである。ノア、ヨブ、ダニエルがそこに居たとしても、彼らの義によって息子や娘を救うことはできないのである。」

ミニストリー・オブ・ヒーリング434ページ

「自己に打ち勝ち、清くなり、天国に入るための戦いは一生の戦いであって、絶えざる努力と活動なしには、神聖な生活の進歩も、勝利者の冠を獲得することもできない。高い状態から人間は墮落したという最大の証拠は、元の状態に戻るのにこれほど努力がいるという事実である。」

初代文集142ページ

「あなたがたは生きるために死ななければならない。準備しなさい。準備しなさい。準備しなさい。あなたがたは、今までよりもっと準備しなければならない。いきどおりと激しい怒りが容赦なくあらわされる主の日がやって来て、地上を荒廃させ、地上から罪人を滅ぼし去るのである。すべてを犠牲として神にささげなさい。自分も、財産も、すべてを生きた供え物として、神の祭壇の上にのせなさい。」

祝福の山176ページ

「わたしたちの戦い、すなわち、人間の戦わなければならない最も激しい戦いは、自己を神の意志に従わせること、心を、愛の主権に屈服させることである。血肉による古い性質は、神の国をつぐことができない。生まれつきの性癖、古い習慣は捨てなければならない。」

マタイ 16:24

「『だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。』」

祝福の山18ページ

「自我を引き下ろそう、もはや魂の至上権を、
自我に持たせないようにしよう。」

1ヨハネ 5:4

「わたしたちの信仰こそ、世に勝たしめた勝利
の力である。」

ピリピ3:12-14

「わたしがすでにそれを得たとか、すでに完全な者になっているとか言うのではなく、ただ捕えようとして追い求めているのである。……目標を目ざして走り、キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようと努めているのである。」

2コリント 3:18

「わたしたちはみな、顔おおいなしに、主の栄光を鏡に映すように見つ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられていく。これは霊なる主の働きによるのである。」

スタディーバイブル注解 新約388-389ページ

「キリストのようになる目的で彼を見ていると、真理を求める人は神の律法の原則の完全さが分かり、彼は完全の他には何にも満足しなくなる。……キリストがさし伸べておられる完全に到達するという考えに反対するふいしぎな力をみる。しかしキリストには、その戦いで彼に勝利を得させる救いの力がある。……キリストを自己以上に愛する時に、救い主の美しきかたちが信じる者の内に反映される。」